

議題1

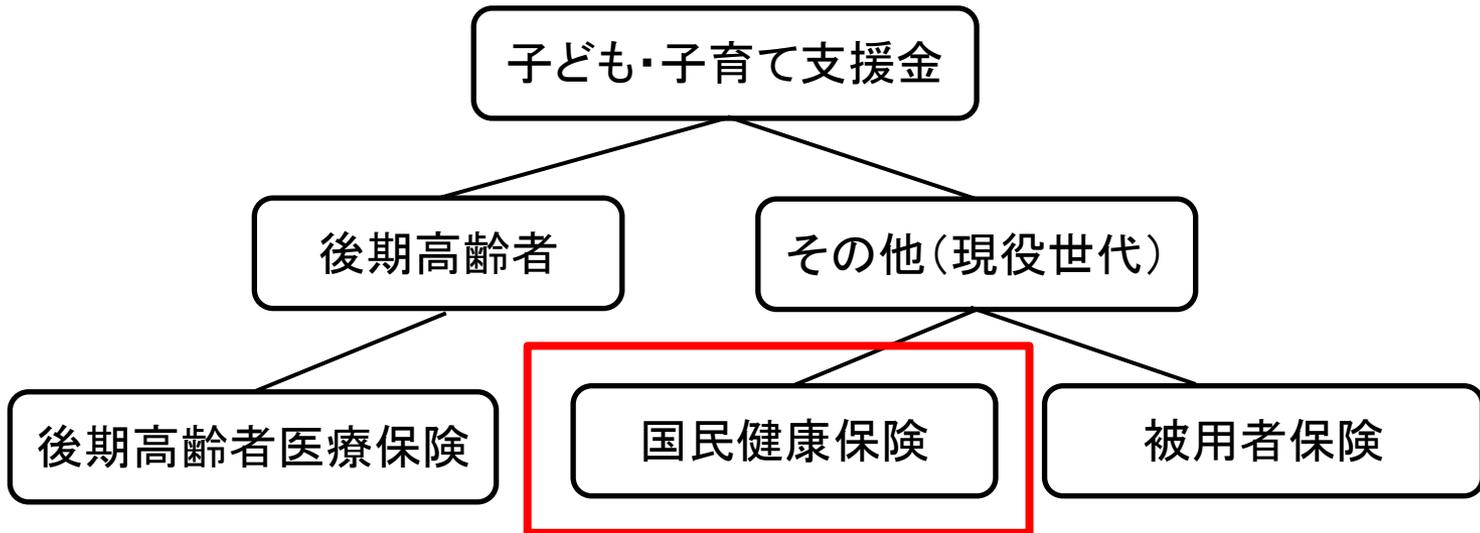
資料1

令和8年度 安城市国民健康保険税の税率について

令和8年2月5日 安城市国民健康保険運営協議会

概要

- ・少子化対策の抜本的強化に当たり、少子化対策に受益を有する全世代・全経済主体が、子育て世帯を支える新しい分かち合い・連帯の仕組みとして令和8年度に創設。
- ・国は、支援納付金対象費用に充てるため、令和8年度から毎年度、医療保険者から支援納付金を徴収し、医療保険者は、支援納付金を納付する義務を負う。

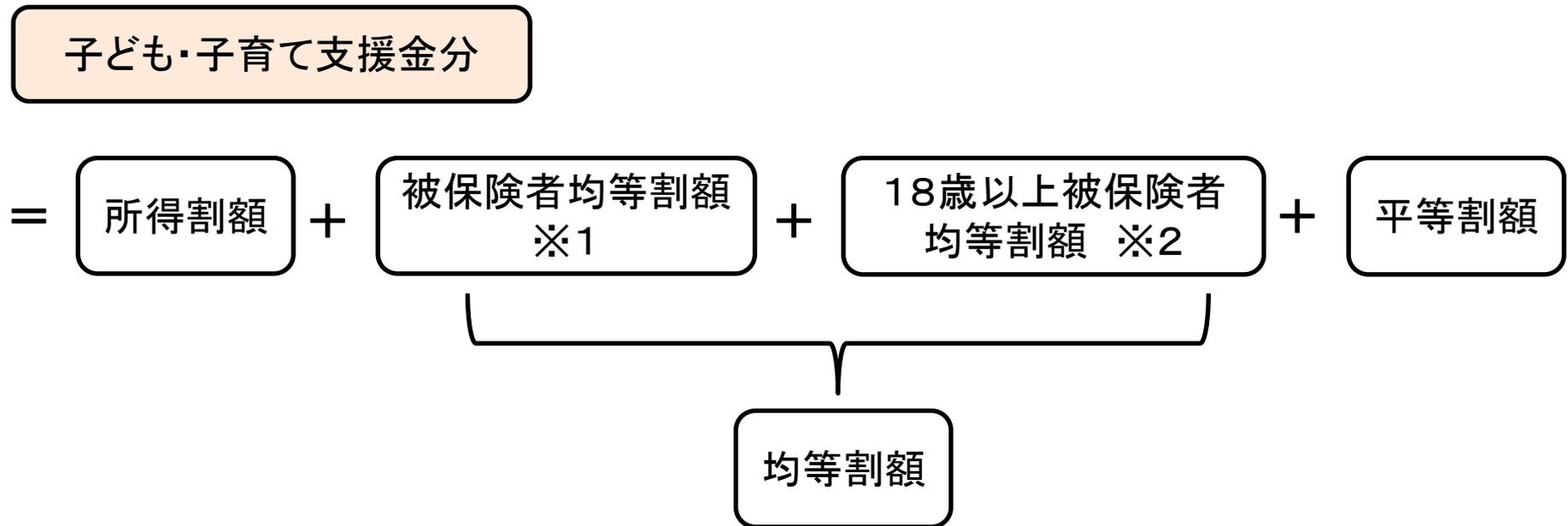


- ・医療保険者は、医療保険制度上の給付に係る保険税や介護保険料とあわせて、子ども・子育て支援金を徴収する。



子ども・子育て支援金の保険税計算方法

- ・課税限度額、軽減措置(7割、5割、2割)を設けることとし、詳細は現行の国民健康保険制度に準ずる形で実施。
- ・18歳に達する日以後の最初の3月31日以前までの子どもに係る均等割を10割軽減。



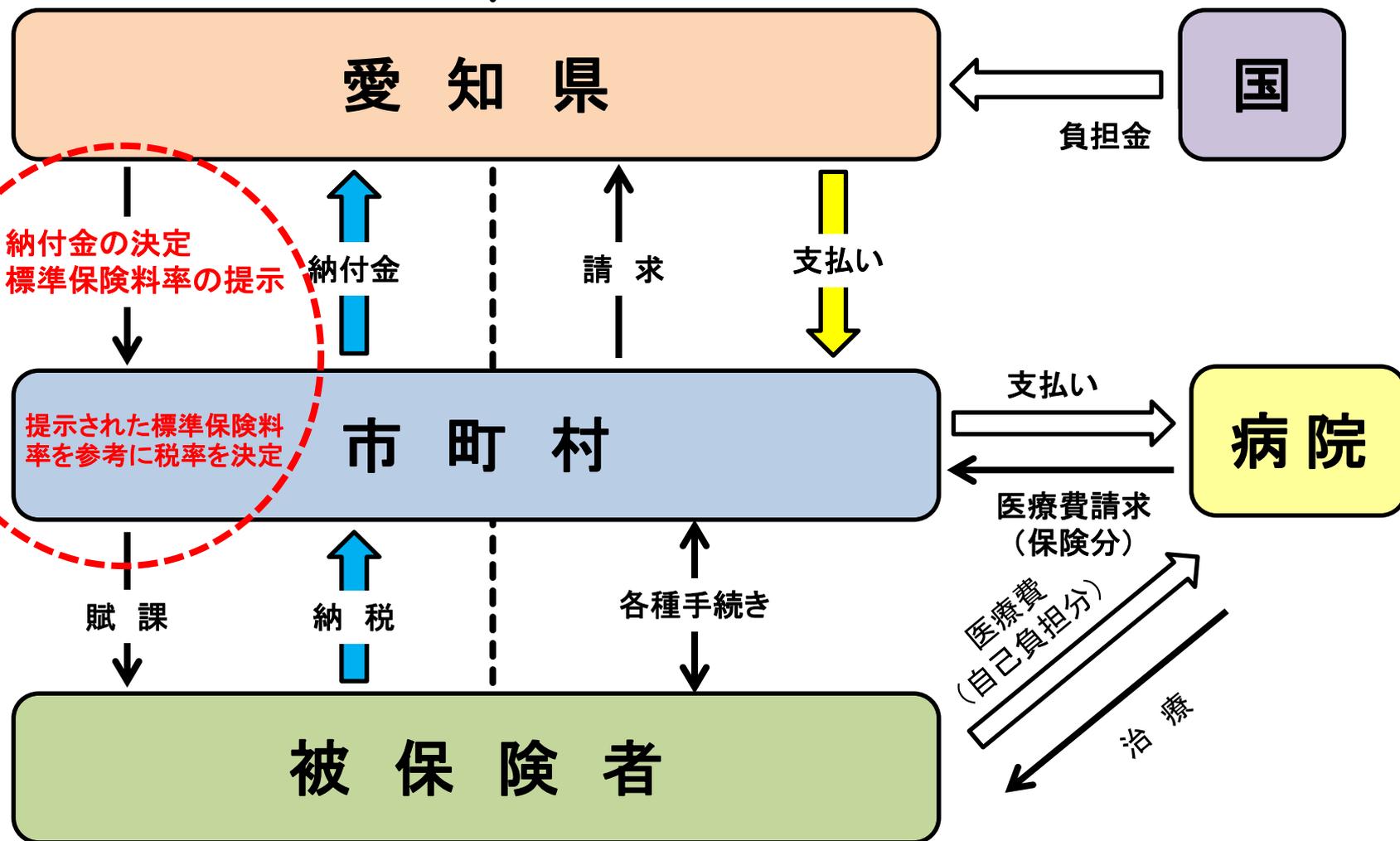
※1 18歳未満の被保険者は10割軽減

※2 18歳未満被保険者均等割減額相当額を18歳以上被保険者数で按分

【県単位化後の国民健康保険制度】

【国保税】

【保険給付】



加入の手続き、保険証の発行、各種保健事業などは、今までどおり各市町村で実施

【算定における主な留意事項】

1 保険給付費の推計について

国の示した推計方法に必要な補正を行うことにより算出
過去2年間(実績値)の伸び率で推計

<県全体>

年度	保険給付費の総額	被保険者数	1人当たり保険給付費
R7	405,460,433千円	1,171,696人	346,046円
R8	406,619,778千円	1,135,625人	358,058円
比較	+1,159,345千円	▲36,071人	+12,012円



公費等を加減算

年度	市町村納付金の総額
R7(現行)	198,121,868千円
R8(本算定)	<u>201,575,667千円</u>
比較	+3,453,799千円

【県が示した本市の納付金（令和8年度本算定）】

5

（一般被保険者での算定・比較）

年度	納付金（一般分）	被保険者数	1人当たり納付金
R7	4,849,868千円	28,004人	173,185円
R8	4,953,079千円	27,077人	182,926円
比較	103,211千円	▲927人	+9,741円

【県が示した本市の標準保険料率（令和8年度本算定）】

区分	医療分	後期分	介護分	子ども分	計
所得割	7.43%	2.84%	2.44%	0.29%	13%
均等割	31,736円	12,049円	12,248円	1,321円※	57,354円
平等割	20,373円	7,735円	6,065円	799円	34,972円

※ 18歳以上均等割を含む

【税率の考え方】

- ・原則、県が示す**標準保険料率を採用**
- ・均等割と平等割は100円未満を切捨て **100円単位**

【令和8年度本算定 国民健康保険税(案)】

区分	医療分	後期分	介護分	子ども分	計
所得割	7.43% (+0.68%)	2.84% (+0.06%)	2.44% (+0.12%)	0.29%	13% (+1.15%)
均等割	31,700円 (+2,800円)	12,000円 (+300円)	12,200円 (+500円)	1,300円※	57,200円 (+4,900円)
平等割	20,300円 (+1,500円)	7,700円 (+100円)	6,000円 (+200円)	700円	34,700円 (+2,500円)

※ 18歳以上均等割を含む

【令和7年度 現行税率】

区分	医療分	後期分	介護分	計
所得割	6.75%	2.78%	2.32%	11.85%
均等割	28,900円	11,700円	11,700円	52,300円
平等割	18,800円	7,600円	5,800円	32,200円

【1人当たり平均課税額の比較(年額) 試算】

項目	R7税率(現行)	R8税率(案)
1人当たり課税額	116,067円	126,692円
現行との比較	—	+10,625円

※子ども分を除く、医療分・後期分・介護分の課税額の比較

【課税額上昇の要因】

- ① 1人当たり保険給付費(医療費)が上昇し続けており、保険税率が上昇したため。
- ② 愛知県下において、各自治体が負担する納付金の算定に用いられる医療費指数反映係数(α)が、令和7年度より段階的(▲0.2/年)に削減され、令和8年度は $\alpha=0.6$ となる。県下で4番目に医療費指数が低い安城市にとって、県への納付金額の「低減率」がマイナス(▲0.2)されることとなり、その分、納付金が増える要因となった。

【納付金・標準保険料率算定スケジュール】

